



# 重廣恒夫の山歩き教室 (3)

## 千葉県清澄山の事故を検証する



ないことです。

②携帯も無線機も通じなかった。ガイドが3人もいたわけですから、1人か2人が少し移動して連絡を試みるとか、連絡の取れるところまで動くということができたのではないかと思います。ガイドにはそれくらいの力量が必要です。また山では携帯は通じないものと心得るべきです。

③暗くなったのでビバークした。

この判断は悪くはありませんが、ガイドや参加者の力量がもう少しあれば夜間の行動も可能なルートでした。まだ気温がそんなに低くなかったので無事でしたが、たとえ日帰りであっても両具、防寒具、非常食、ヘッドランプの準備が重要です。特に最近では軽量志向で小型で軽量なヘッドランプが求められています。最低でも5時間以上の点灯時間とスベアの電池を用意すべきです。

安全への備えは自らの責任であり、怠ればそのツケは当然自分に戻ってきます。

①初めてのルートだったので道を間違えた、下見をしていなかった。

ガイドが間違えれば一連托生ということにならないために、参加者も地図とコンパスの携行が必要で、ガイドは下見などの準備も必要ですが下見より必要なのは読図力で、どんな状況下でも道に迷わ

12月号の(2)で、山歩きという変化の激しい自然環境下の行動で、安全を確保するための常識を解説しました。原稿を送付した直後の11月26日、千葉県清澄山へハイキングに出かけた中高年の男女30人が行方不明になった事故が世間を賑わしたことはご存知の通りです。新聞報道などにも「安易な計画に批判の声」と報じられていましたが、今回はこの騒動を題材に我々の安全登山の心得を再度解説してみたいと思います。

このツアーは「新ハイキング社」が募集した日帰りツアーで、26日午前10時前に千葉県君津市を出発。石尊山(348m)を経由し、午後3時半に清澄山(377m)の頂上にある清澄寺で迎えるバスと合流する予定でした。しかし午後3時頃待機していたバスの運転手に携帯電話で清澄寺から直線で約2kmにある「麻綿原高原の手前に

いる」と連絡をした後に音信不通になりました。そして連絡が途絶えてから16時間経った27日午前6時50分、ガイドから対策本部に携帯で連絡があり、全員の無事が確認されました。ガイドは「林道を歩いていて分岐点を見落とし道に迷った。初めてのルートだったし暗くなったので、これ以上動く危険ないと判断してビバーク(野営)した。携帯電話のほかに無線機も持っていたが通じなかった。取っただ置は間違っていないかった」と報告しています。

本当にそうなのでしょか。

①初めてのルートだったので道を間違えた、下見をしていなかった。

ガイドが間違えれば一連托生ということにならないために、参加者も地図とコンパスの携行が必要で、ガイドは下見などの準備も必要ですが下見より必要なのは読図力で、どんな状況下でも道に迷わ

①げびろつねお

1947年山口県徳山市生まれ。71年オニツカ(現アシックス)に入社。73年エレスト(南西壁の世界最高点(当時)へ到達。77年、日本人としてK2に初登頂。80年、北壁からの新ルートでチョモランマに登頂。88年のチョモランマ交差縦走(日本・中国・ネパール三国友好登山隊)では、登隊隊長として、世界最高峰を舞台にした世界初の交差縦走を成功し導く。92年、当時未踏の最高峰であったナムチャバルワの初登頂を指揮。96年、日本百名山を13日で連続踏破した。

## 第4回六甲山トレッキング(12/17)

### 五助尾根から紅葉谷、有馬へ



心待ちにしていたルート表がやつとファクシミリで届く。毎回の下山後にあるミーティングで教わった「ルート確認」を地図を広げて自分の目でする。今回で4度目のルートだが前回迄一度も目にしなかった。踏跡不明。や落石? マイクがあり少し不安を感じたが、このパーティーのリーダーはかの「重廣恒夫」さんである。終着地点の有馬温泉の文字も目に入り即参加を決める。

当日は天候にも恵まれて全員元氣よく御影を出発! 住吉山手白鶴美術館を通り、五助ダム堰堤から尾根沿いに五助山頂上を目指して登る(今回はつくづく登ると感じた)。山頂付近に近づいた時、傾斜の凄さに心臓が耐え切れず激しく踊り出した。普段の体力づくりがいかに大切かということ、今回は思い知らされた。

山頂から凌雲台にたどり着き、待望のランチタイム。皆がさっさとお弁当を食べ始めると、重廣氏がリュックから鍋やガスを取り出して何やら作り出した。なんと氏自らパーティーの全員に「ポタージュ」をご馳走してくれたのだ。(貴重な水はスタッフの川上君が秘密に担いで上がってくれたのだ) 皆は感激と感謝で心も身体も暖まり下山の用意をした。紅葉谷出合いより百間滝を渡り、沢沿いで今回のルートは変化に富んで、最後まで楽しく歩けた。無事に有馬に到着。仲間たちと湯に浸かり至福のひと時を満喫する。

今私は「酒」と云う恋人から「山」という恋人に心を奪われつつある。

畑 福子

★2003年度  
エクソンモービル音楽賞  
やまとがく  
大和楽  
家元大和久満師受賞



右上は受賞に喜びの大和久満家元ご夫妻  
右下はお控いにかけてくれた理事長の大和三千世・礼子師  
左は授賞式の川田さん、福井さん、大和師、山中さん、  
エクソンモービル日本代表



エクソンモービルグループが主宰する文化賞は1966年に「モービル児童文化賞」。また「モービル音楽賞」は1971年に創設され、2001年にエクソンモービルグループの新体制のもと名称を変更し、30年にわたり児童文化と音楽文化の発展・向上に尽した人々を励ましてきた。

第38回（2003年度）

の受賞者は、児童文学作家の山中恒氏。音楽賞は、邦楽部門で、大和久満師と、テナーの福井敬さん（二期会）そして第15回奨励賞に、ヴァイオリンの川田知子さんが受賞。11月27日東京虎ノ門ホテルオークラにおいて授賞式と演奏会が開かれた。第1回は山口五郎（尺八）と江藤俊哉（ヴァイオリン）第2回は松崎倭佳・稲音家倅（長唄）・朝比奈隆（指揮者）といった世界的な名人ばかりである。

姫路出身の大和楽／大和久満家元の受賞は、創作力と演奏力、また新邦楽「大和楽」を確立した実力。そして芳村伊十七として長唄での活躍は神戸でもファンが多く、嬉しい受賞といえる。

# ★個性派作家具象選抜五人展 元町画廊に力作揃う



▲元町画廊・佐藤康さんと4人の作家たち

田波克己さんの透明度のある作品 ▶



平田郁さんと個性的な作品 ▶



自画像を描く木下昭夫さん ▶

◀庶民性と情緒の  
風物詩画タカノ卯港さん



かつて戦後以降、洋画展といえば具象作家が本流を始めていた。今日、多様な絵画表現が氾濫しつつあるが、いわゆる、作家・本質に忠実な個性的な作品を見る機会が少なくなった。具象絵画の衰退である。

そこで元町画廊は今後期待したいと思う作家達を選び企画展を11月20日から27日まで開催した。各作家とも完成過程であるが、充分意味がある展覧会であったと思う。

本展の各作家の特徴を一口で言えば次の通りである。木下昭夫の重厚なオーソドックスさ、タカノ卯港の庶民性のある風物詩、田波克己の物体の透明性、平田郁の色彩とコンポジションの強烈さ、山田晃稔の陰影のある風景、それぞれが自己主張して良い展覧会であったと自負している。

なお、平田郁はこの展覧会によって、月刊神戸っ子新年号より始まる連載小説、中野順哉作「鏡の中のサムライ」のさし絵の仕事をいただいた。楽しみなことである。

(文責／元町画廊・佐藤康)

## ●日本BPW連合会・近畿ブロックセミナー神戸クラブ10周年 “女性と仕事”をテーマに

11月29日(土)午後1時から4時まで、クリスタルタワー6階の県立神戸生活創造センター講座研究室において、日本BPW連合会の近畿ブロックセミナーが、神戸クラブ10周年を記念して開かれ、約100名が参加。

右は4人のパネリスト朴木／田中／玉岡／中川でホンネのトーク！

左は「天涯の船」の女たちを講演する玉岡かおるさん



神戸ハーバーランドニューオータニで神戸クラブ10周年の記念パーティ、玉岡さんを囲んで

女性と仕事”をテーマに、第一部は講師・作家の玉岡かおるさんの講演。「神戸女学院大学を卒業して、月刊神戸っ子に『夢食い魚のブルーグッドバイ』を神戸文学賞を受賞して連載された作品を新潮社から出版することになり、丁度結婚した時だったので、主婦と子育てと作家業を必死で頑張りました。今『天涯の船』2部作がヒット中ですが、松方幸次郎をモデルに、彼をめぐる女たちの生き様をみると、明治の自立する私たちの姿が生き活きと見えれます。」

第二部では田中裕子さん(夢工房代表取締役)、朴木佳緒留さん(神戸大学教授)、中川俱子さん(建築家)の4人で、パネルディスカッションが生まれ、生活体験の中からホンネの討議に会場は熱くなった。

# ●アフガン支援の西垣敬子さんと芸工大学生グループが企画 アフガニスタンの失われた刺繍展



展覧会を企画した「PORT PROJECT」のメンバー。左から代表の高柳克史さん、写真集のレイアウトデザインを担当した竹内啓子さん、高柳さんとともにグループを立ち上げた久保亮さん



写真上：アフガンでの西垣敬子さん（左）  
写真下：家族のために、女性が何十年もかけて刺繍したものもある

写真集  
「アフガニスタンの失われた刺繍」1200円

「デザインを学ぶ者から見ても、非常にすばらしい価値の高い服」と久保さんが話す美しい刺繍



アフガニスタンには、美しい刺繍の伝統があり、その技術は母親から娘へ、孫へと引き継がれてきた。アフガンへの支援活動をする「宝塚・アフガニスタン友好協会（TAF A）」の西垣敬子さんは、アフガンのアンティーク布に出会ったのがきっかけとなり、「刺繍を習いたい」と訴える未亡人や被災孤児たちにミシンや刺繍糸を寄付するなど、の支援をしている。

西垣さんの多数の刺繍コレクションを集めた展覧会が、12月12日～24日、神戸芸術工科大学で開催された。展覧会を企画したのは、芸工大の学生・研究生らのグループ「PORT PROJECT」。昨年の学祭で作品の売上をTAF Aに寄付し、西垣さんに出会ったメンバーは、アフガンの刺繍のすばらしさを多くの人に知ってもらおうと展覧会を企画、コレクションをまとめた写真集を出版した。代表の高柳さんは「テレビの中でしか知らなかったアフガンという国。美しい刺繍を見て、これがアフガンなんだと思った。多くの方に写真集を見てもらい、戦争が忘れ去られることがないように願いたい」と話す。写真集は一般書店でも販売される。

■写真集に関するお問い合わせは、(株)かんぼう ☎06-6443-2172まで

# 有馬歳事記

有馬温泉観光協会青年部  
新リーダー・轡豊さんにインタビュ

「有馬をよくしよう」という  
同じ思いの仲間をもっと増やしたい

今年4月から有馬温泉観光協会青年部リーダーに就任する轡豊さんに、今年1年の活動の抱負や有馬に対する思いを語っていただきました。

「今年はどうな活動計画がありますか。」

青年部の主催するイベントは、6月の「沙羅の花と一弦琴の鑑賞会」、8月に有馬川の川床で行なわれる



今年から青年部リーダーとなる轡豊さん

「有馬涼風川座敷」、そして昨年からは「湯はこびリース」があります。特に新しいイベントは企画せず、今のこのイベントを充実したものにしていきたい。「湯はこびリース」

「は昨年が第一回めで、レースに参加される方は多かったです。有馬以外から来られる方や、レースを観戦しに来られる方がまだまだ少なかったので、宣伝に力を入れたいと思います。有馬温泉には、リーダーのお客様を増やしたいですね。夏の「涼風川座敷」は、屋台やゲーム、舞台など、縁日の形をとったものです。子供の高来られた思い出のあるお客様が、大人になってまた子供を連れてくる...といったように、次の世代につながる、またそれだけ続けられるイベントも大切だと思います。今年のイベントのコンセプトは「大人になれる有馬、子供にもなる有馬」です。青年部で

有馬一望・歴史の名湯

HYOE

兵衛  
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)  
URL <http://www.hyoe.co.jp>



有馬温泉月光園

GEKKOIN  
湯籠館  
KOROKOKAN

TEL (078) 903-2255  
姉妹旅館 湯の茶  
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり味に集う  
ARIMA

SUNNY SIDE UP  
TENNIS CLUB  
TEL (078) 903-1024



攝津有馬  
壘所坊

TEL (078) 904-0551

静寂さにつまれた  
くつろぎの宿

国際観光旅館

五ノ  
陵楓閣

TEL (078) 904-0675

の活動のコンセプトは「知る青年部」。

「知る青年部」という目標とは？

今年でも年に数回、他の温泉地へ行って現地の観光協会などと交流したりする勉強会などを開いてきました。今年はそういった勉強会の回数をふやし、有馬温泉の歴史などもきちんと勉強して、青年部のメンバーひとりひとりが有馬のことをよく知るということを進めていきたいのです。

青年部はボランティア団体だと思っています。それぞれに職業を持っている者たちが集まって「有馬を良くしよう」という思いで活動をしています。本職をもつ者が集まっているので活動が重荷になってもいけないし、仕事ではない（営利のない）活動に対して人を動かすのは難しいですね。今まで青年部は、観光協会指定の店や旅館で働く者しか入れなかったのですが、その枠をはずして、もっと広い範囲からメンバーを集めたいと考えています。そのため、規定の改正案を協会に出そうと思っています。

「有馬を良くしたい」という思いを同じくする仲間をもっと集めたい。現在、部員が年々少なくなっているという事情もあります。それ以上に、ひとつの目標に向かって、さまざまな立場から意見を言い合っているところがあるからです。

さまざまな新しいイベントや企画を立ち上げ、昨年まではメンバーの意識改革をしてきたと思います。今年はそれを受けて、足場を固めて、新しい有馬づくりのための起承転結の「起」にあたる年にしたと思います。

「轡さんは、「竹芸有馬籠くつわ」の五代目ですね。有馬籠のお話を聞かせてください。

有馬籠は秀吉の時代から続いている伝統工芸で、有馬籠を作っているのは現在うち一軒しかありません。以前、備前焼の有名な先生が「有馬籠は備前焼と一緒にすね」と言われたことがあります。土の匂いがする備前焼と同じ、路地を現わしているもの。それ自体は派手でなく、土と同じ「花



轡さんの家は有馬籠のお店

を生かす」ものだ。有馬籠は1から10まで手作り、うちでやるんです。六甲山系に竹をとりに行き、それを編みます。店では父が籠を編んでいますから、見たことのある方もおられるでしょう。父から技を受け継いでいます。といっても父はあまりいろいろと教えてくれません。見て学べということなのでしょうか(笑)。

今年1年は、青年部のリーダーということ、忙しくてなかなか仕事ができないかもしれないのがつらいです(笑)。

雅ただようくつろぎの館

中の坊珠苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで  
有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

日本の伝統  
数寄屋造りの館

欽山

TEL (078) 904-0701

チェックイン13:00、アウト12:00  
ゆっくりとお過ごしいただけます。

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

有馬での会食・宴会は焼石料理・ステーキが楽しめるいろいろ亭「轡籠」で!!  
(昼5000円～、夜8000円～)

有馬温泉 政府登録国際観光旅館

銀水荘別館

北楽

TEL (078) 904-3656(代)



# 神戸の本棚



## 赤い港のエナジー

東山理那

霧の朝神戸港、少女と姉は降り立った。まだ見ぬ人の世の喜びと苦しみに出会うために……。戦後の復興期から阪神大震災までの時代を背景に、徳島と神戸を中心に繰り広げられる家族の愛憎劇を、4歳の舞子が成長しながら見つめ続ける。透徹した人間観察が光る、ある家族の小さな物語。



文芸社  
1000円+税

## 播磨国風土記とところどころ

田中荘介

播磨各地を訪ね伝承の謎をさぐり、古地名の比定地を求めて歩き、書き綴った地名起源説話の宝庫。文学の萌芽、言葉の探索・散策の記。



編集工房ノア  
2200円+税

## フランスを救った日本の牡蠣

山本紀久雄

1960年代の終わりから70年代にかけて、フランスの牡蠣が病気になる全滅しかけた時、日本のマガキの輸入によって危機をまぬがれた。当時の関係者の感謝の声とともに、フランス6ヶ所の牡蠣養殖の現場を実際に歩き、その成果をまとめた、今までになかったフランス牡蠣のドキュメント。



小学館スクウェア  
1429円+税

## 65年前の洋行

銀行マンが見た

1937年の世界

金田敏郎／竹之内明子編  
日中戦争勃発の年、1937年に、海外研修のため英国へ派遣された一銀行マン。「諏訪丸」で欧州に向かい、ナチス台頭期のドイツ、イタリー、フランス、イギリスの国情に触れ、書かれた洋行の記録。大戦直前の世界とは？



文芸社  
1000円+税

## 語り継ぎたい。命の尊さ。阪神大震災ノート

増補版

住田功一

震災の日につながる神戸に居合わせたNHKアナウンサーである筆者が、取材者として、一市民として、目撃したこと感じたことを率直につづり、いざというとき、どう行動すればよいかを考える……。あの日の教訓を生かし、次世代へ読み伝えたい一冊。



一橋出版  
980円+税

## ダンティ入門・レディ入門

矢嶋美佐子

ちょっとした心がけや、言葉遣いを少し丁寧にするだけで自分もまわりの人も優れたい穏やかな気持ちになる。より最適な男性・女性になるための30の心がけをアドバイス。いつの間にか魅力的な紳士淑女に大変身。



新風舎  
900円+税

## 生きる ホームレス歌人 ツネコ 心の旅路

倉元 瞬

生きるのが難しい時代。しかし、生ある限り生きていかねばならない。生きてさえいければ、違った明日に出会えるかもしれない。ホームレス歌人ツネコさんの人生を通して、老いへの生き方を考える。



リサイクル文化社大阪編集室  
1200円+税

★今月ご紹介いたしました本を抽選の上読者のみなさまにプレゼントいたします。詳しくは、P122プレゼントメイトをご覧ください。



著者：かどもとみのる

1943年広島県生まれ。カフェ & ショットバー「気まぐれカモメ」(神戸・南京町)店主/神戸港を考える会代表



### 「メリケン波止場」

長征社/1500円+税

：朝日のおたる波止場に立って、耳をすませば、岸壁の石段を洗う波の音、船同士のきしみ、ランチの軽快なエンジンの響き、小魚を追って群れ飛ぶカモメの鳴き声、みなと保育所の子どもの歌声が…(本文より)

昭和34年から平成7年まで、人生の半分以上を港で過ごした、名物船長。15歳の春、はしけの乗組員を振り出しに、タグボート兼ランチの甲板員、港めぐり遊覧船船長、大阪湾クルージングの営業・企画など、海を職場とし、神戸港の一部始終を見続けてきた著者ならではのエッセイ集。

港の隅々に働く人々の活気があり、海を埋めつくすがごとく、無数のはしけがかよっていた頃のセピア色の風景が霧笛とともに懐かしくよみがえってくる。



### 「四百年の長い道」

一朝鮮出兵の痕跡を訪ねてー

リーブル出版/1500円+税

秀吉によって引き起こされた「朝鮮の役」では、多くの罪なき朝鮮人たちが日本に連れてこられた。彼らはさまざまな差別や迫害に耐えながらも、たくましく異境の地で生き抜いてきた。その四百年の歴史の痕跡を著者自らが各地を訪ね歩き、克明に取材調査を重ね書き記した渾身の作。西日本を中心にまとめられ、著者の執念と情念が、新たな発見と感動をあたえる。



著者：尹 達世

1945年愛媛県内子町生まれ。統一日報社神戸支局長などを経て現在団体職員

神戸の小さな料理屋で少し酒が入っていい心持ちでいると、「あなた、韓国人やいうが、秀吉の朝鮮征伐で連れてこられた朝鮮の女性の墓が徳島にあるのを知っているか」と、隣席から唐突に声をかける人がいた。突然のこともあり、酒のために頭が茫としていたことも手伝って、一瞬うろたえてしまった。(本文より)



明治中期のヒョーゴホテル 左ページ共（神戸市立博物館蔵）

## ミセス・グリーンを 知りませんか？

その①

～“港の花”ともてはやされた  
英国人女性について～

谷口良平

明治初期の居留地時代、神戸に生活し、そしてこの地に散った、ある美しい英国人女性に興味を抱いたので、この一年間、彼女の足跡を辿っています、というお話である。

私は小説家でも学者でもない一企業人だが、仕事の絡みで六甲山の開発の歴史を勉強する必要に迫られたことから、六甲山の開祖として名高い英人グルーム氏の業績に触れた。それがきっかけで居留地研究にハマってしまい、その女性の存在を知った次第である。

彼女の名前は、メアリー・エリザベス・グリーン (Mrs. Mary Elizabeth Green)。オリエンタルホテルと並んで神戸居留地の一時代を代表するホテルのひとつ「ヒョーゴホテル (HIGOGO HOTEL)」の女性経営者といえば、ご存じの読者諸兄もおられるはず。

◆和田克巳編『むかしの神戸』（神戸新聞総合出版センター刊）より

「ヒョウゴホテル 神戸に建てられたもともと古いホテルである。経営者はメアリー・エリザベス・グリーンという美しい女性で、明治初期、長崎の英国領事館に勤める夫に従って遠い日本を訪れ、夫の死後、母親に似て、美しい二人の娘さんと神戸に移り住み、外国人専用のホテルを建てた。明るく豊富な肢体を持ったと言われるこの未亡人の生涯には、何やらドラマチックな匂いが漂う。

（中略）

植民地風の建物で、豪華とは言えないが外国航路の発着地点であったメリケン波止場に近しい上、宿泊料金が安かったことから大衆的人気があった。後年、跡地に日本郵船ビルが建った。」

◆司馬遼太郎著『街道をゆく 二十一』（朝日新聞社



現在の同場所 メリケン波止場前の神戸郵船ビル (撮影協力 玉起彰三氏)



314 KOBÉ HOTEL

書籍『むかしの神戸』(神戸新聞総合出版センター刊)  
『街道をゆく 二十一』(朝日新聞社刊)



刊)の『神戸散歩 五 西洋佳人の墓』より  
「たれの墓に詣るかという点では、躊躇なく、ミセス・グリーンということにした。明治初年の神戸居留地で、豊満な容姿で知られた英国婦人である。

(中略)

墓碑銘を見て、ミセス・グリーンが四十三歳で亡くなったことを知った。一般論としては老いの長いことをことほがねばならないが、しかし容色の衰えきらぬころに世を去った美人については、墓はどこかつややかであるを感じた。」

この二書の他にも、郷土史誌やホテル業界史誌等いくつか読んでみたが、ヒョーゴホテルの歴史については論及されていても、ミセス・グリーンの人となりや経営手腕については、ほとんど何も語られていない。

彼女は、どのような経緯で、どういう経路で神戸にやって来たのか。夫の死後、なぜ故郷に戻らず、二人の娘と共にこの地にとどまったのか。そして何よりも、神戸に来てからどんな運命を辿ったのか。

かように単純な好奇心から、手がかりを求めて、仕事の休日に旧居留地とその周辺を歩き、大倉山の図書館や熊内町の文書館に通いはじめた。

そして、外国人墓地にも詣り、夜は自宅でインターネット上の情報を拾い集め、出張の帰途やたまの連休を利用しては、長崎と横浜まで足を伸ばして調べた一年間だが…。

(つづく)

■たにぐち りょうへい  
1949年大阪生まれの宝塚育ち。学校を卒業後、在阪の鉄道会社に勤め、現在は関連のホテル会社の役員。1974年より東灘区在住。趣味は一人旅。



小人(小学生) 1300円

6歳未満は無料

■三尺寸著

大阪市北区角田町7-10 HEPPIA

ピオ6F

06-6316-1363

昼/11:00~16:30

(L/O/14:30)

夜/17:00~22:30

(L/O/9:00)



ぬくもりのある看板が目じるし

### 寒い冬には チーズフォンデュ 「フロマージュ クロ」

北野坡の中ほど、おしゃれなビル・コーナーハウスDOの4階にある、チーズフォンデュと洋風懐石のレストラン「フロマージュクロ」。天井が高く、自然光がたっぷり入って、明るく楽しい雰囲気の内。

ここのチーズフォンデュ

は特製ブレンドで、アルコー  
ル分をおさえたマイルドな  
もの。チーズが苦手な人で  
もOKなくらい食べやすく、  
プロッコリーやカリフラワー

などの野菜とエビがセット  
になったサイドディッシュ  
(400円)も人気。一方、  
和食器に盛られた洋風懐石

は、お箸で気軽に楽しめる。  
旬の素材をふんだんに取り  
入れ、洋風懐石にアレンジ。

ランチメニューは150  
0円、ディナーは300  
0円。ともにチーズフォ  
ンデュつきでリーズナブル。

ワイン(グラス500円)  
/ボトル1800円)、  
生ビール、カクテルも豊富。

■フロマージュクロ

神戸市中央区山本通1-7-11



四季を味わう洋風懐石とチーズフォンデュのコース料理

コーナーハウスDO4階

078-24217223

11:30~15:00 (L/O14:00) /

17:00~22:00 (L/O21:00)

水曜・第2火曜休

香港甜品店

「甜蜜蜜(ティンママ)」

阪急岡本駅から南へ下り

ると、魚屋さんや八百屋さ  
んが並んでいる小さな商店  
街(というか路地...)があ  
る。その一角にあるのが

「甜蜜蜜」。えっ、ここにカ  
フェが!というような場所。  
香港映画にハマり、香港が

大好きという店長の船原真  
美子さん。なるほど香港の  
路地裏の世界だ(行ったこ

とないけどイメージ)。船  
原さんが、姉のかな子さん  
と一緒に手作りで作った店。

内装や家具の一部も手作り。  
何度も香港に行った船原  
さん姉妹。「香港は果物が

豊富で、特にデザートはお  
いしいだけじゃなくて身体  
や美容のことを考えたもの

ばかり」と、香港のデザー  
トと中国茶のカフェをオー  
ンした。美肌と黒髪のため

には、大量の黒ごまと水

だけで炊いた白玉だんご入

り黒ごまのお汁粉(500  
円)、香港ではふつうに食  
べられている亀の甲らのゼ  
リー(500円)など。各

種中国茶のほか、中国茶葉  
でつくったオリジナルのミ  
ルクティ(600円)はお

すすめ。栄養バランスを考  
えたワンプレートランチ

(750円) などランチメ  
ニュー、午後3時~はどん  
ぶりものやワンプレート晚

ごはん(900円)もある。  
小さい空間だけどメニュー  
がとても豊富。

■甜蜜蜜

神戸市東灘区岡本1-8-1

078-441-0338

12:00~22:00

水曜休

まさに香港の路地裏の雰囲気!  
香港映画上映会も企画されているとか



# イベント スケジュール 2004.1-2

## MUSIC

チキンガリーリックステーク  
ライブツアー「ありがとう」

2/1(日)17:00開演  
チキンジョージ(生田神社西)  
前売4000円 当日4500円  
●問合せ/さだ企画CGGS  
06-6362-18122

ストリートライブなどで、その声の美しさで神戸の街を魅了してきたアカペラグループ「チキンガリーリックステーク」。メンバー6人とも神戸出身。昨年メジャーデビューをはした彼らが、久し振りに地元でライブを、人間の声だけで演奏、歌い上げるその歌唱力、音楽、詞はとにかくすばらしい。



チキンガリーリックステーク

## ART

喜び・怒り・哀しみ・楽しみ  
御管カルタ原画展

1/27(火)2/8(日)  
11:00~18:00 月曜休廊  
北野DOME美術館(山本通り)  
078-1262-19140  
http://www.rjwtopp.com



町へのさまざまな思いがカルタに

神戸チキンジョージでのライブに読者3名様を招待。詳しくは左下の愛読者プレゼントコーナー参照。

## CINEMA

留学生支援チャリティ映画の集い  
「北京ヴァイオリン」

2/1(日)13:00開演  
ビレホール(JR新長田駅南)  
当日一般1200円  
前売一般1000円  
留学生・学生600円  
●問合せ/交流センター  
078-6461-7100



チェン・カイコー監督作品「北京ヴァイオリン」

この街で「など、町の人の今の思いを綴った句、それを表現した絵がカルタになった。今回、カルタになった原画66枚を展示する。カルタの即売もあり。

留学生支援のためのチャリティ映画会。プログラム第一部は「留学生が語るアジア映画の現在」と題し、中国・韓国・ドイツ・インドからの留学生がパネリストとなってシネマトークを開催。第2部でチェン・カイコー監督の「北京ヴァイオリン」を上映する。2002年サン・セバスチャン国際映画祭で最優秀監督賞、最優秀主演男優賞を受賞した作品。人々の心を潤ませ

るヴァイオリンを奏でる少年・チュンと、息子を一流のヴァイオリニストにした父。チュンは著名な先生の個人指導を受け、国際舞台へと羽ばたくためのチャンスと掴むが、それは愛する父との別れを意味していた。『さらばわが愛』等で知られる中国の名監督が、現在される北京を舞台に描いた心温まる物語。

## CD紹介

森岡公隆・林敏之  
「A HAPPY DAY」

本誌「ヒューマン対談」でも登場の林敏之さんと、同志社大学時代のラグビー部の仲間だった森岡公隆さんが歌う。「A HAPPY DAY」は、森岡さんが19歳のころ作詞・作曲した青春の歌。今回のCDをプロデュース、編曲を手がけたのは、ゴスペライズの名曲「永遠に」の作曲者である妹尾武さん。ラグビー好きの妹尾さんは林さんの大ファンだったということ。この歌がCD化された。A HAPPYをわけてもらえらる1曲。  
■CDに関するお問合せは月刊神戸っ子まで。



# ●ライブハウス・スケジュール 1月

## ■チキンジョージ

TEL.078-392-0146

http://www.chicken-george.co.jp

- 9(金)・10(土) Gargoyle  
 16(金) 東京スカパラダイスオーケストラ  
 17(土) 平松愛理  
 19(月) ZAZEN BOYS  
 20(火) NANIWA EXP  
 21(水) トレスアミーゴス VS NANIWA EXP  
 22(木) 石田長生  
 23(金)・24(土) 上田正樹  
 28(水) SHUZ Q&C  
 29(木) 木村充揮  
 30(金) 三宅伸治/MOJO-CLUB  
 31(土) DA・BUDS

## ■ピアジュリアン

TEL.078-391-8081

http://www.pia-julien.com

- 5(月) 小笠原薫(vn)山内尚子(p)  
 8(木) 高橋乗子(vc)近藤美香(p)  
 9(金) 田中希美(vo)片桐えみ(p)  
 11(日) 小野朝子(vo)大迫めぐみ(p)  
 12(月) 中鼻佐和(vn)留由美子(p)  
 13(火) 山本朋子(ハーブ)武村美穂子(フルート)  
 14(水) 田中郷子(vo)西奈央子(p)  
 15(木) 西本淳(sax)原田恭子(p)

- 16(金) 奥野香織(p)  
 17(土) 田中靖子(p)  
 18(日) 金澤佳代子(p)  
 19(月) 小笠原薫(vn)山内尚子(p)  
 20(火) 大川江里子(コントラバス)  
 21(水) 米澤傑(tn)ディナーコンサート  
 22(木) 近藤美香(p)  
 23(金) 鈴木華重子(p)  
 27(火) 宮崎万里(vn)植田浩徳(p)  
 28(水) 藤溪優子企画  
 29(木) 新田綾子(ヴィオラ)田中靖子(p)  
 30(金) 松澤須美(mezzo)片桐えみ(p)  
 31(土) 高島依子(sp)鎌田史子(p)

## ■Holly's

TEL.078-251-5147

http://www.kobe-hollis.com

- 8(木) 藤村麻紀(v)他  
 9(金) 雨宮千晶(v)植田良太(p)前田洋二(b)  
 10(土) HANNY(v)小泉ゆうこ(p)川野祐哉(b)高野正明(d)荻田和貴男(g)  
 15(木) 鈴木久美子(sax)宗川信(b)他  
 16(金) HAWAIIAN/ハレクラニBOYS  
 17(土) 長井美恵子(p)森本優子

- (fl)  
 22(木) 宮下博行(p)西垣昌也(b)高野正明(d)  
 23(金) 川端やよい(v)他  
 24(土) 大川Yoko(v)世古昌義(p)坂崎拓也(b)樋口広大(d)  
 29(木) 大内玲子(p)他  
 30(金) CHOKAMI IT!!  
 31(土) 松永しんすけ(p)小林みづる(v)

## ■萬屋宗兵衛

TEL.078-332-1963

http://www.soubei.net/

- 10(土) オノベッツ(JAZZ)  
 19(月) 鈴木一郎カルテット  
 21(水) 山下幸江(v)  
 25(日) ひねのけいいちろうBig Band Jazz

## ■WACA2

TEL.078-333-6768

http://www.h3.dion.ne.jp/~waca

- 15(木) MONKEY DEAD  
 24(土) 錦木修(sax)&佐々木義広(g)デュオLIVE

## ■SONE

Tel.078-221-2055

http://kobe-sonne.com

- 3(土) 北荘桂子  
 4(日) ロイヤル・フラッシュ・ジャズバンド  
 5(月) 新井雅代

- 6(火) ベティ鞍富  
 7(水) 辛島寿美子 片岡学カルテット  
 8(木) 北荘桂子 大塚善章トリオ  
 9(金) 大越理加  
 10(土) 新井雅代  
 11(日) 北荘桂子 鍋島直規カルテット  
 12(月) 大越理加  
 13(火) 溝口恵美子  
 14(水) キャンディー・浅田  
 15(木) 古谷充カルテット  
 16(金) 辛島寿美子 橋本裕ギター・カルテット  
 17(土) ベティ鞍富  
 18(日) ジャネット 藤井貞泰トリオ  
 19(月) 北荘桂子  
 20(火) 原田裕子  
 21(水) 新井雅代  
 22(木) 宮野英子  
 23(金) 新井雅代  
 24(土) 大越理加  
 25(日) 中島徹/ブラジリアンクインテット  
 26(月) 北荘桂子  
 27(火) 南滝実子  
 28(水) 若宮美和ひきがたり  
 29(木) 新井雅代 長谷川元伸カルテット  
 30(金) 大越理加 藤井貞泰トリオ  
 31(土) 北荘桂子

## 愛読者チケット プレゼント

★チキンガリーックスステーキ・ライブご招待券(2/1神戸チキンジョージ) 3名

★映画鑑賞招待券

●パルシネマしんこうえん(湊川公園) 2名  
 1/6・16「北京ヴァイオリン」  
 「サハラに舞う羽根」▽1/17

●ベレーネシネマ(西区) ヘア5組  
 1/17・2/6「こちら葛飾区亀有公園前派出所」▽1/17・2/6  
 「あたしんち」▽2/7・3/3  
 「着信アリ」▽2/7・3/5  
 「パッドボーイズ2パッド」

●シネモザイク(ハーバーランド) 2名  
 1/17「タイムライン」▽1/17  
 「着信アリ」▽1/24「シキスケッチ」▽2/7「赤い月」▽2/7「ラブ・アクチュアリー」

★西灘劇場(灘区水道筋) ヘア5組  
 上映中「1/9「藍色夏恋」[Love Letter]▽1/10・23「散歩する惑星」▽1/ボクサー」▽1/24  
 「春の惑い」

●応募方法  
 ハガキかファクシミリで①希望するチケット(劇場名) ②住所・氏名③電話番号④今月号の感想を書いて〒650-0011 神戸市中央区下山手通2-13-3 建創ビル4階(FAX078-1333112795)「月刊神戸」子チケットプレゼント」保までお送り下さい。



# ポケットジャーナル



## ★商いの心を活かそう！

### 「兵庫経営塾」設立

経営風土づくりが経営発展の大きな要素となっており、NPO法人「兵庫経営塾」が設立された。経済発展の「負の産物」として、精神が荒廃しつつある現代、優先して復興すべきは精神であり、その根幹は「商いの心」に他ならない。「商い」はすべての仕事の本質であり、「商いの心」は、すべてのの人々にとって、健



共学！共育！兵庫経営塾

全な社会生活を営む上で欠かせない徳目である。「兵庫経営塾」は、商いの心を活かした人材育成講座の開催を通じて、明るい社会づくりに貢献することを基本理念としているNPO。理事長には田中博人氏（元甲南大学野球部監督）が、また顧問には、瀧川博司氏（兵庫トヨタ自動車社長）、上島康男氏（ウエシマコーヒーフーズ会長）、山根秀夫氏（神戸新聞社会長）、森恒夫氏（元甲南大学学長）が就任。2月7日（土）15時より、兵庫県民会館にて、仲井光夫氏（大阪能率協会副会長）を招いて発足記念講演会（無料）を開催する。ぜひ参加して、よりよい社会経営を学びたい。

2月1日 記念講演会「発想の公開講座のご案内」

転換と経営者の決断！松下幸之助創業者に学んだこと  
2/7(土)15:00～16:30  
講師 仲井光夫氏

3月1日 「経営の中枢を担う人材育成担当者研修」  
3/10(水)10:00～17:00  
② 「社徳と業績を高める経営理念実践研修」  
3/18(木)10:00～17:00  
③ 「積極的倫理の実践 経営不祥事防止研修」  
3/23(火)14:00～17:00  
④ 「顧客の視点に立った顧客満足実践研修」  
3/26(金)10:00～17:00

■問い合わせ 兵庫経営塾  
☎078・361・0565  
<http://www.npo-hyogo.jp>

## ★第1回神戸カメラマン協会 初心者教室

基礎から学びたいというカメラ愛好家の要望に応え、神戸カメラマン協会では「はじめての写真教室」を新設した。年6回奇数月の日曜日の午後開講で協会員以外の参加も大歓迎。1回目は1月18日(日)13:30～16:00。神戸海員会館会議室にて。受講費は年1万2千円と入会金2千円。カメラと近作プリントを持参のこと。ぜひこの機会にプロの手

誕生日  
ありがとう  
運動



眼と眼で

「誕生日フェスタ」では多くのハンディキャップをもつ人と接します。もちろんねらいの一つです。東灘から徒歩で来た人が万歩計を誇らしげに示す。作業所での慣れた技を教える人、生徒にした市民に囲まれて、困った顔が愉快でした。

次はもっとよく準備をしておきたいって、来年のことまで考えてくれました。眼と眼で話がかけてきました。疲れたと問いかけてきました。「でも楽しかったね」と笑みで返します。

施設は解体されます。すると毎日が交流です。支援ネットワークに加わる好機があなたにもやってくるでしょう。

新しいことに挑むゆとりと勇気を互いに持ち合いたいものです。

松の事は松に習へ、竹の事は竹に習へ（芭蕉）

1 M

誕生日ありがとう運動本部  
〒650・8790 神戸市  
中央区中町通4・2・11 村  
上ビルB1  
TEL&FAX 078・3  
60・1257

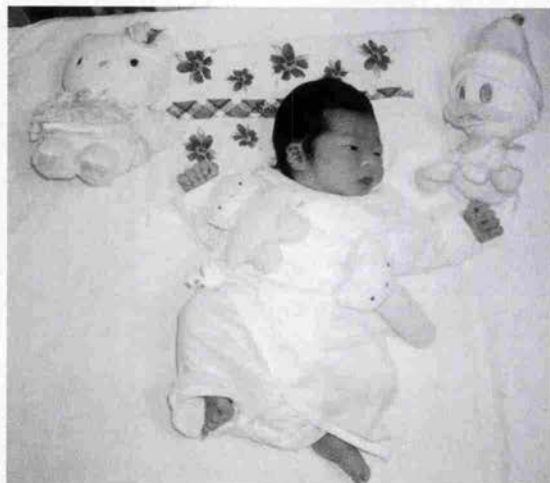




SAMOTO CLINIC

佐本  
産科

ママといっしょに



なかにいりか  
あかちゃん： **中新梨花**ちゃん  
(平成15年4月24日生まれ)

ババ： 浩二さん  
ママ： 真彩子さん

「お友達がたくさんできるといいね。」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15  
TEL：078-575-1024 (病室TEL：078-577-7034)

市バス上沢4 停南スグ  
●駐車場完備●

六甲山トレッキングツアー企画

コーディネーターと  
一緒に六甲山を歩きま  
せんか

六甲を見逃すな!!



四季折々の六甲山を感じながら、  
山の歩き方、山の楽しみ方を体  
験できます。

第6回

六甲山トレッキングツアー／六甲山冬景色

- ◆日時：2月18日水
- ◆コース：裏六甲縦走路
- ◆参加費：3,000円  
(交通費、食費は個人負担)

下山後、コーディネーターを囲んでの茶話会  
を企画します(参加費に含まれます)

◆締切：2月10日

コーディネーター

重廣 恒夫氏  
(アシックス・  
アウトドアマイスター)

井川 勲氏  
(イカワスポーツ店主)

服装、装備のご相談は、イカワスポーツへ  
神戸市中央区下山手通3-3-1 ウエルストンビル1F  
TEL.078-331-3390 FAX.078-331-8087

◎申込方法：月刊神戸っ子へお電話下さいませ。

月刊神戸っ子  
事務局 TEL.078-331-2246 FAX.078-331-2795  
E-Mail kobecco@crux.ocn.ne.jp

協力：(株)アシックス・イカワスポーツ

海からのエネルギー **仁丹のフコイダン**

**FU-3000**

フコイダン+3菌系体

オキナワモズク由来フコイダンに、3種の菌系体（スエヒロタケ、アガリクス、メシマコブ）を高濃度に配合した代替医療食品



●召し上がり方：  
健康保持のため、1日1  
～2パックを目安にコップ  
などに注いでお召し上  
がり下さい。水やジュー  
スなどを混ぜて飲んで頂  
いても結構です。

褐藻類の成分「フコイダン」が癌細胞を自滅させる。  
フコイダンが癌細胞をアポトーシス（細胞の自殺作用）する  
ことが第55回日本癌学会で発表されました。以後臨床研究が  
盛んに実施され、代替医療食品として今、注目されています。

**フコイダンとは**

海藻類に含まれる多糖類成分の総  
称で部分的に硫酸化されたフコ  
スを主構成成分としています。褐  
藻類より抽出された「フコイダン」  
は、近年、数多くの生理活性作用  
が見いだされています。

**メシマコブ菌系体エキスとは**

長崎県男女群島の女島（メシマ）に  
野生する鼻の幹に寄生することか  
らこの名がついたといわれていま  
す。メシマコブ菌系体を熱水抽出  
したエキスは免疫力を活発にする  
働きがあるといわれています。

**アガリクス菌系体とは**

学名を「アガリクスフラゼイ」と  
いい、原産地はブラジルです。  
1980年の日本薬理学会、日本癌  
学会総会等で制ガン効果が発表さ  
れました。多糖体のβ-D-グルカン  
を含んでいます。

**スエヒロタケ菌系体とは**

水溶性のβ-1-3-グルカンを豊富に  
含んでいます。β-1-3-グルカンは  
免疫賦活作用がありますが、水溶  
性になると消化管免疫組織の機能  
を高めやすいといわれています。  
加齢により免疫力が低下した高齢  
者の方に適しています。



森下仁丹(株)100%子会社  
**(株)仁丹ファインケミカル**

●ご用命  
カタログ  
資料請求は 代理店 エルムサポートクラブ

☎ 0120-251-994 担当 **土井**  
FAX 0120-251-992

★創刊43周年月刊神戸っ子記念パーティ

**KOBECCO祭り2004**  
**ご案内**



日時 2004年3月3日（水）  
午後5時30分受付  
午後6時開演  
会場 神戸ポートピアホテル  
会費 ￥12,000

- 第33回ブルーメール賞
- 第14回神戸っ子賞授賞式
- 2004年神戸酒徒番附揃い呑み
- ショータイム・ひな祭り紅白歌合戦 他

主催 **神戸っ子の会**

事務局 神戸市中央区下山手通2丁目13-3 建創ビル4F  
〒650-0011 Tel(078) 331-2246 Fax(078) 331-2795

## ゴルフ紳士必勝法

文・竹田 洋太郎  
え・鴨 居 玲

ゴルフは「紳士のスポーツ」である。あらゆる意味においてそうである。ボールを飛ばしたり転したりして、穴に入れるだけの単純なものに、紳士性を試す種々のイジワルが付加されたものといって差支えない。

さて、「紳士のスポーツ」の意義を考えよう。紳士の「スポーツであるゴルフは、勝敗にこだわってはいらないが、紳士の「スポーツ」である以上、勝たねばならない。

警察官で推理作家でもある森木正一氏は「半どん」誌に「高尚なカントリー・クラブで点をこまかす方法は心理作戦と称して相手に心理的混乱を導き、相手のナイス・ショットを封じる方法である」と、その作戦の一例を挙げている。

○さんを心理的に壊滅させるため、ティ・グラウンドで「さすがに○さんだ。いいフォームだなあ」とささやく。そこで○さんは「一つこいつらにすばらしいショットを見せてやろう」という気になる。それだけでショットは失敗に終るというわけだ。

このような方法については、ステイブン・ポター氏の著書 GAMESMANSHIP・LIFEMANSHIP・ON E-UPMANSHIP 等が多数の例があるから熟読玩味された。

ゴルフが紳士のスポーツである限り、少なくともイジワルにおいて相手に勝たねばならないが、18ホールで完

全に敗けた人物に対しても第19番目のホールが残されてある。19thホールで「一ぱい飲むこと」にしても、費用の点において、さらには飲む場所において、惨敗を喫する機会なきにしもあらずだから敬遠する向きも多い。モテルとテキを連れて行ったつもりが、こちらの財布でテキがモテルこともあり得るからである。これらをすべて考慮に入れたうえで、次の方法が考えられた。

「きょうオレが負けたらオレがもつから徹底的に飲む」とまず宣言する。相手がまだゴルフ通に達していなかったら、この言葉だけでテキは興奮し、ミスをするだろう。もしテキが勝ったら、あなたは堂々とテキを従え酒屋にいくのである。（「酒屋」であって「酒場」でないことに注意）

テキは酒屋へ連れてこられて驚くだろう。（驚いただけでもこちらの勝、そこでイギリス紳士とパブとの関係について一席ぶつ）

酒屋のカウンターには、建築現場がえりのトビ職、沖からあがってきた荷役の仲間（ギャングという）非番のタクシー運転手諸君がコップ酒、二級ウイスキー、梅割りなどをかたむけている。

驚いたテキに「ここでゴルフの話は禁物なんだ。ゴルフ人種に敵意をもつ人がいるかもしれないからな」とささやく。こうして勝ったプレーの自慢話を封じる。ゴル

# 「別冊紳士入門図解」



「紳士は思考する。」

あゝ。  
私はあの馬になりたい、  
然しあまり思考しすぎる。と  
馬が豹に変化したりする心配がある。  
即ち君子豹変也。

ファーに与つては、ゲームで負けるよりも、ゴルフの話が禁じられる方がツライのであるから。

あなたはここでさも馴れた口調で「オサケ（二級酒のこと）二つ」と注文し、手近なタナからサケかハマグリのカン詰めをとり、カン切りで開けてもらう。カン詰をハシを使わずに楊子だけでたべながら、きき酒用の茶わんの酒を飲む。酒屋では、一ぱいは正一合であるから、これを二はいもやると相当に酔う。テキは恐らく無言を続けるだろうが、あなたは酒屋の主人と「スーパーマーケットの進出に伴う小売店の対策と将来」などについて

語り、二はい目の終りごろロレッツを乱し、三はい目でテキにからみはじめる。

テキは逃げ腰になる。そこで「場所をかえて飲み直そう」といえば、大ていテキは退散する。これで勝負は完全にきまつたのである。

もしテキがこれに動ぜず、コップ酒をぐいぐいやつたとすれば、テキの方が紳士として一まい上（英語でいうとONE-UPMAN）なのである。こんごつき合わないことだ。

# 平賀源内ミステリー 殺人事件

中右 瑛

北斎センセイには、司馬江漢の他に、もう一人、憧れの人があった。それは平賀源内センセイだ。三人には風狂という共通点がある。

世に、奇人変人は多い。なかでも江戸文化人には、天才ゆえに常道を逸した思考のゆえに、奇々怪々たるナソの行動をひき起こすご仁がいる。私が選ぶ江戸三大奇人は、エレキテル発明（電気）の平賀源内。ニセモノづくりの情熱を注ぐ司馬江漢。アホクサイをペンネームにした画狂人・葛飾北斎ら、世にも希なるおもしろセンセイ方である。

源内センセイ（二七二八、七八）は、四国讃岐の藩主・松平家に仕える足軽白石茂左衛門国久の子で、身分低く、貧しく、物頭役・真田宇左衛門に奉公に出る。その茶坊主時代、大人も顔負けの博識、多才ぶりを発揮して、未恐ろしき天狗小僧と畏敬呼ばわりされる程のワルガキだった。

向学心に燃え、長崎に遊学。オランダ草木の研究やオランダ渡りの珍奇物にご執心のあまりに、家財道具一式を売り払ってでも好きなものを買ひ蒐める……というゲテモノ蒐集狂となる。「土用の丑」の日になきを食べることを考えついたアイデアマン。

センセイ書き下ろしの浄瑠璃「神霊矢口渡」は大入り満員の大ヒット。以来、次々と発表した台本はどれもこれも大当り。

原著作・平賀源内



平賀源内肖像イラスト（筆者画）

科学にも万能で、薬草研究、エレキテルの実験、燃えない火浣布の発明、オランダ陶器をヒントに源内焼を創作するなど、江戸のレオナルド・ダ・ビンチといわれるほどのマルチ天才ぶりを大いに発揮したのだった。

一方、悪評すこぶる高し。癩癩癖で自尊心強く、変質者。酒食に溺れ、大言をなす怪しげな山師とも、ベテン師とも悪口をいわれる。

加えて、女嫌いで極度の男色趣味。金さえあれば、娘の格好をした色子少年のいる芳町の蔭間茶屋にゆき、玩童あそびにほうけたという。生涯、独身を貫いたのだった。

センセイは浮世絵師ではなかったが、絵心にもたけ、ただならぬ実力を発揮し、世にも稀なる名画を残した。日本でも初めてという油絵「西洋夫人図」である。日本画顔料にナタネ油をませ合わせ、キラキラとつやのある油絵に見せかけた。

晩年、秋田藩に招かれ、鉾山技術を伝え、藩士・佐竹曙山と藩士・小野田直武に西洋画法を教え、洋画の



平賀源内画「西洋夫人図」(油絵/神戸市立博物館蔵)

夜、牢中で死亡。五十二歳だった。

「幽霊のタタリだ」と人々は恐れおののいた。友人・杉田玄白は密かに遺体を引き取り、浅草総泉寺に埋葬したのだった。

これにも別説がある。時の為政者・田沼意次の密書を弟子の要助が見たので、源内は口封じのために惨殺した。田沼の策略で、源内の身代わりとして殺害した別の罪人を源内が死んだこ

先駆者として高く評価されているゆえんである。直武の弟子の江漢とも親交を持つ。

センセイの呼び名はおびただしく多く、ペンネームもその都度変わる。

通称・平賀源内。幼名、四方吉。茶坊主時代は休業。

本名・白石改め平賀国倫。字は子彝。別号・鳩溪。著書「根南志具佐」「放屁論」には風来山人と署す。「神霊矢口渡」など数種の浄瑠璃本には、福内鬼外、他に紙鷲堂、天竺老人、森羅万象。俳名は李山と称した。世にも絶倫な行動派のセンセイ。晩年、ひよんなことから殺人事件に巻き込まれてしまったのだ。

安永八年(一七七九)夏、小伝馬町に近い神田橋本町の神山検校の旧宅に引越す。この家は幽霊が出ると噂されていたのを、センセイは平気で買い取った。そして十一月二十日夜、センセイは突如発狂し、弟子で神田に住む米屋・秋田屋久左衛門の倅・久五郎を斬りつけ殺害してしまったというのだ。伝馬町の牢舎に入られたセンセイは、およそ一ヵ月後の十二月十八日

ととして、源内を夜中密かに越後三条へと逃がしたという。当地で八十余歳まで長生きしたというもの。延命を願うファン、源内センセイの人氣ぶりが知れよう。源内殺人事件の真相はナゾ? ミステリーに包まれている。

源内センセイが死んだとき、北斎は二十歳。浮世絵界の大御所・勝川春章門から絵師としてデビューを飾った年であった。

源内センセイと北斎との接点があったか? どうかは不明だが、北斎は源内の破天荒な生きざま、波乱万丈の人生、人間としての魅力に、大いなる共鳴を抱いたに違いない。

■中右 珠(なかう・えい)

抽象画家。浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数



■みだら夜話／第十二回

餅つき歌

あさき またら

浅黄斑〈作家〉

絵・犬童 徹

皆様、新年、おめでとうございます。

正月ということで、めでたい話でも書こうかと思つたのですが、近頃いっこうに、めでたい気分になれない。政治の貧困から不景気はますますひどくなる一方だし、まるで理解のできない犯罪も増加の一途ですしね。しかも、なにやらきな臭い。なんだかだと理屈をこねたり、でっち上げて、アメリカがイラクに戦争をしかけた。名目はどうあろうと、石油の利権を奪いたいという腹の中は、誰の目にも明らかですよ。その尻馬に乗って、日本が軍隊を出すという。ああ、いやだ、いやだ。あ、正月早々、愚痴をこぼしてしまつてすみませんね。で、めでたい話はやめて、代わりといつてはなんです、おもしろい話、おめでたい、話にしようと思います。

神戸という町は、ご存じの通り、徳川幕府がアメリカをはじめとする列強国の圧力に負けて、ここを開港地にする決めたことで生まれた新都市



です。横浜なんかもそうです。でも、それ以前に兵庫という古くから栄えた港町があった。今も兵庫区に佐比江町という町がありますが、その当時、ここは遊女の町だった。撰津名所図絵にも「佐比江、兵庫津にあり。この地は上方よりの入り口にして、常に賑わし。ちゃや、うかれめの家とところどころに見えて、琴、三味線をならし旅客の袖を引く」と紹介されています。

さて、この佐比江に奈良屋という老舗のお茶屋があつて、明治維新後は東柳原町に引っ越して料亭を営んでおりました。古き良き時代の話です。

古老の話によりますと、この奈良屋の餅つき風景が、とてもたのしかったといひます。太格子の内側の土間に多くの芸者衆が集まり、三味線や太鼓で賑やかに「餅つき歌」を歌いながら餅をついたというんですね。その歌詞というのが、めちゃくちゃに、いやらしい。いや、おもしろいんですね。

この歌の名は「十二月」といって、歌詞の中に、正月から十二月までの行事を巧みに読み込んでいます。曲のほうはというと、実は子供たちの手まり歌で、いわば替え歌です。ちなみに「じゅうにがつ」とは読まずに、「じゅうにつき」と読んでください。餅つきだけに「十二突き」としゃべっているんですね。こういうのを「掛けことば」と言います。

この歌が生まれたのは、大坂の新町という遊郭で、江戸は文化期のことです。

当時、「新町焼け」と呼ばれた大火があって、復興はしたものの、なかなか以前のような賑わいを取り戻せない。そこで年寄上座の扇屋四郎兵衛という人が工夫を凝らし、空前絶後の大趣向で餅つき大会を開いた。それが嘉永二年のことでしたが、なんと、この歌が大評判となってしまいました。

あげくは本歌取りではないけれど、こちらのほうが手まり歌となってしまうと、子供たちに歌われる始末。でも、先ほど書きましたが、かなりエッチな内容です。こんなふうになります。

「まず初春の、暦開けば心地よいそや、みな姫はじめ、ひとつ正月年を重ねて、弱いお客はつい門口で、お礼申すや、新造かむろは、例のかわらけとりどりに、なすな七草、はやし立つれば、心いきいき、ついお戎と、じっと手に手をメの内とて、奥も二階も、羽根や手まりの、拍子そろえて、音もとんとと、突いてもらえば骨正月に」

というところまでが正月部分ですが、ちょっと現代人には分かりづらいかもしれませんね。いたるところに掛けことばや諧謔が仕込まれているんですが、あなたにはいくつ分かりましたか。できれば、詳細に解説を施したいところですが、ちょっと紙数が足りません。

そうだ。今、思いついたのですが、いっそのこと、この「十二月」の歌詞を、本誌二月号には二月の分を、三月号には三月分を紹介しつつ、本年の「みだら夜話」のシリーズにしてみましようかね。よし、そうしよう、そうしよう。(勝手に決めるなど編集長の声が聞こえたような気がするが、一応、無視)

では、まあ、そういうことで、とりあえずは注解に取りかかりますか。

正月の行事で、まず大切なのは姫始めだということですね。これは一月二日です。土農工商、おしなべて事始めの日でもあったわけで、もちろん、皆様が想像する姫始めの意味もありますが、ほかにもいろんな説があります。

興味ある人は辞書で調べてください、というところ、あら無情にも紙数が尽きました。

じゃあ、続きは来月号で――。



■浅黄斑(あさぎ まだら) 推理作家。一九四六年神戸市生まれ。西神ニュータウンに在住。一九九二年小説推理新人賞、一九九五年日本文芸家クラブ大賞を受賞。日本文芸家協会、日本推理作家協会などに所属する。また、日本文芸家クラブ関西支部長。「きょうも風さえ吹きます」(「ちよんがれ西鶴」)「走る死体」(神戸・真夏の祭りに殺人事件)など著書多数。

■連載エッセー／コーヒーカーップの耳 ⑱

# 大豆

出石 アカル

絵・菅原 洗人



「タクシー拾って来たんよ。運転手さんに『分りにくいとこやけど、行ってくれはる？ほんまややこしいとこなんよ』ゆうて、こう行って、あ  
あ行って、て説明したらね、『知ってる、知ってる。そこ、けったいなマスターがおる喫茶店やろ』  
言わはって驚いたんよ。ここ結構有名になってる  
んやね」

足立成子さん、68歳。若いときは女優の大空真弓に似ていると言われた美人である。この連載エッセーの挿絵を描いて下さっている菅原洗人さんの

ファンで、うちの店で行われる洗人画伯の個展では、毎回のように作品を購入して下さる。

最近、息子さんにお嫁さんが来て足立さんは、このお嫁さんが自慢である。縁が遠くて心配していたのだった。きれいで上品で明るくて気さくな、本当にいいお嫁さんである。待った甲斐があったというものだ。

そのお嫁さんと一緒に来て下さった時のこと。

「あんな不っ細工な息子に、ほんまにええ人が当たって……」

お嫁さんを前にしておっしゃる。お嫁さん、あきて、

「何ゆうてはりますのんお母さん。私の主人ですよ。ほんまは、私とお母さんだけは、あの人のことハンサムやと思ってるのでしょ」

私とお母さんだけは、というのがこれ又おかしい。

今回、話がどこへ飛ぶやら分からない。と言うのも、この足立さんという人、頭の回転がすこぶる早くて、こちらがついて行けないことが多いのだ。用事があって電話をしても、「あっ、丁度良かった」と言っただけで自分の用件を話し始めることがしばしばである。電話を切ったから、こちらの話をするのを忘れていたりする。

この人と、以前ある選挙で同じ立候補者を応援して運動を共にしたことがある（選挙運動したのは、初めてだった。後にも先にも、それ一回切り。残念ながら負けた。もうやらない）。ところが彼女のご主人は、対立候補の応援をしていて、やはり活動していた。この主人もちょっとそっかしくて、うちの店にまでその対立候補の後援会に入ってくれと言っただけだった。それでいてこの夫婦、仲が悪いわけではなく、お互いに認め合っていて、自立しているのである。

また話が飛んだが、とにかく彼女、魅力的な女性である。その彼女の思い出話。

「終戦直後のことやけどね、わたしと妹とで、親の目え盗んで大豆煎ってたんよ。夕飯まで待たなくてね。それは家族にとって、その日の夕飯に

大切なもんやと知ってたんやけどね。そしたらその時、思いがけなく早く母が帰って来てね、わたしどこへ隠そうかとあわててしまったんよ。ところがその様子を見た母の口から出た言葉は、「あんたら、夕飯の用意してくれてるのねえ」やったんよ。わたしはこんな悪いことをしてるのに、お母さんはそう思っていない、と思たら涙があふれそうになってね。その日のことが胸の奥にあって、わたしは自分の子どものことを信じきることにしてるんよ」

これとよく似た話を「白米」と題して以前この欄に書いた。やはり終戦直後、両親たちが畑へ行っている間に、姉弟で貴重な白米を炊いた話だった。しかしその人は食べてしまったところに両親が帰って来て思いっきり叱られたのだった。それに引きかえ、この足立さんは、運がいいと言っほかない。しかしその時は、いっそこっぴどく叱られた方が心の傷は後に残らなかったのかもしれない。また母親の優しい言葉があったからこそ、後に素晴らしい子育てが出来たと言えるのかもしれない。それにしても、お嫁さんの前でその主人でもある息子を「不っ細工な男」と言っただけで平然とは。

いずし・あかる 43年兵庫県生まれ「風媒花」「火曜日」同人。兵庫県現代詩協会会員。詩集「コーヒーカープの耳」（編集工房ノア刊）にて、2002年度第31回ブルーメール賞文学部門受賞。